

權利關係

民法②

意思表示

契約の中に、欠陥のある意思表示があった場合

【取消しができる意思表示】

詐欺・強迫・錯誤

【無効な意思表示】

(通謀)虚偽表示・心裡留保・公序良俗違反

無効な意思表示① 公序良俗違反

公序良俗違反とは…公の秩序や善良な風俗(公序良俗)に反する法律行為のこと

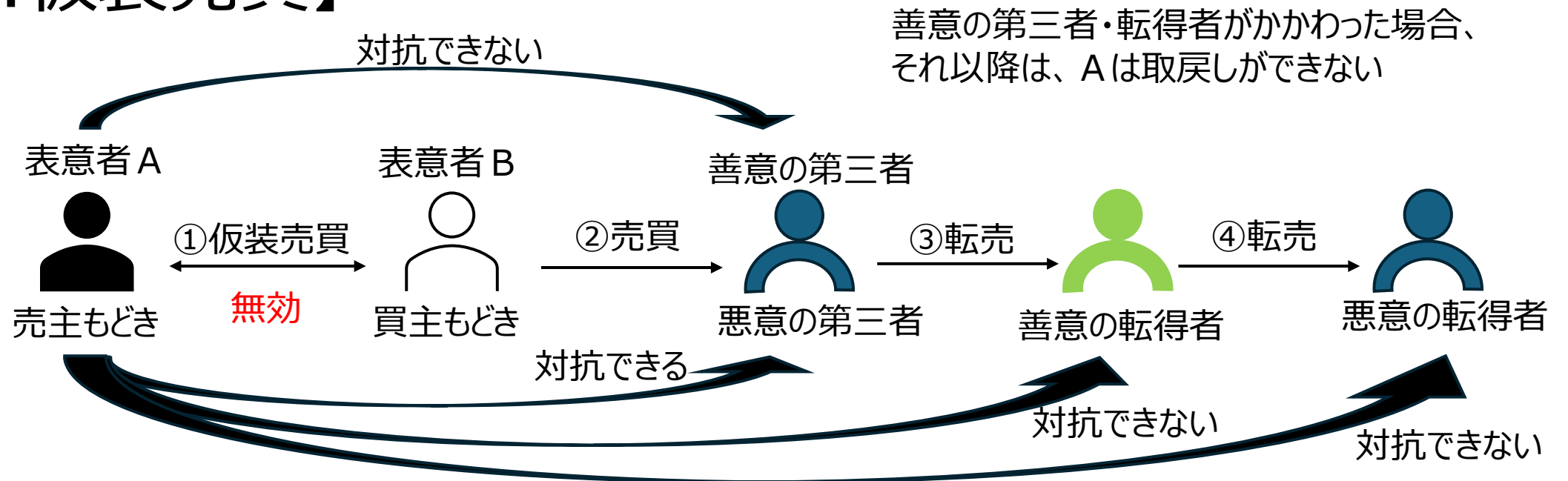
当事者間の効果	無効(絶対的無効)
第三者との関係	善意の第三者に対しても無効主張できる

※第三者は、善意であっても、登記があっても保護されない

無効な意思表示 2 通謀虚偽表示

通謀虚偽表示とは…相手方と共謀して虚偽の意思表示
をすることをいう

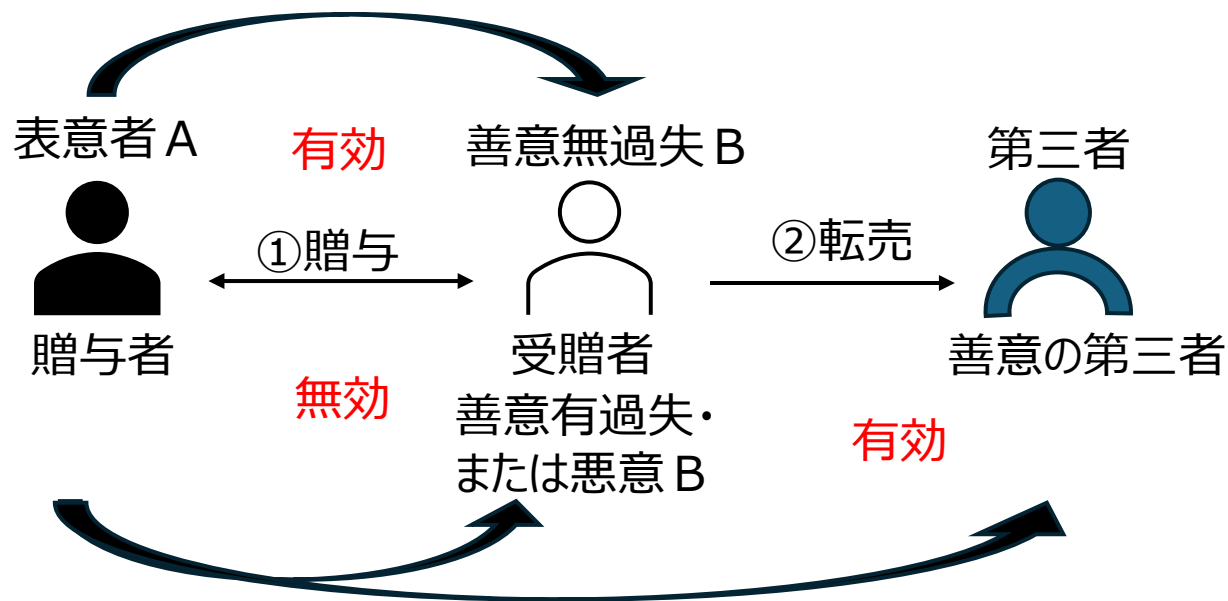
【例：仮装売買】



無効な意思表示 3 心裡留保

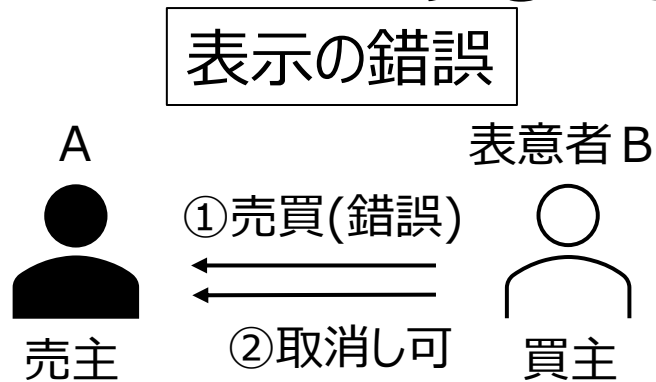
心裡留保とは…表意者が単独で虚偽(うそ)の意思表示
をすること

【例:贈与】 対抗できない

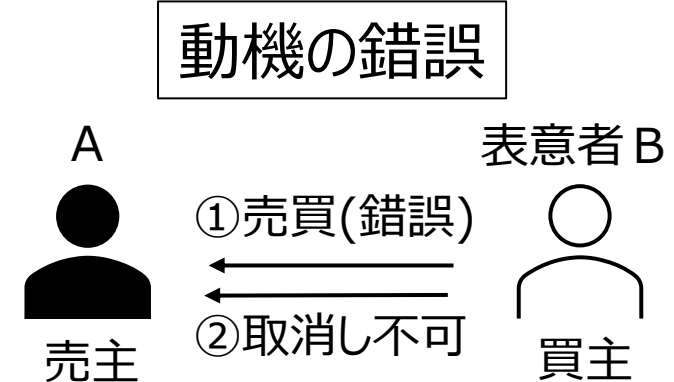


取消しできる意思表示 1 錯誤

錯誤とは…内心(本当の意思)と表示が異なっていることを、
表意者自身が自覚せずに意思表示(勘違い)
すること



どちらの場合も
たとえ取り消しても
善意無過失の
第三者には対抗
できない



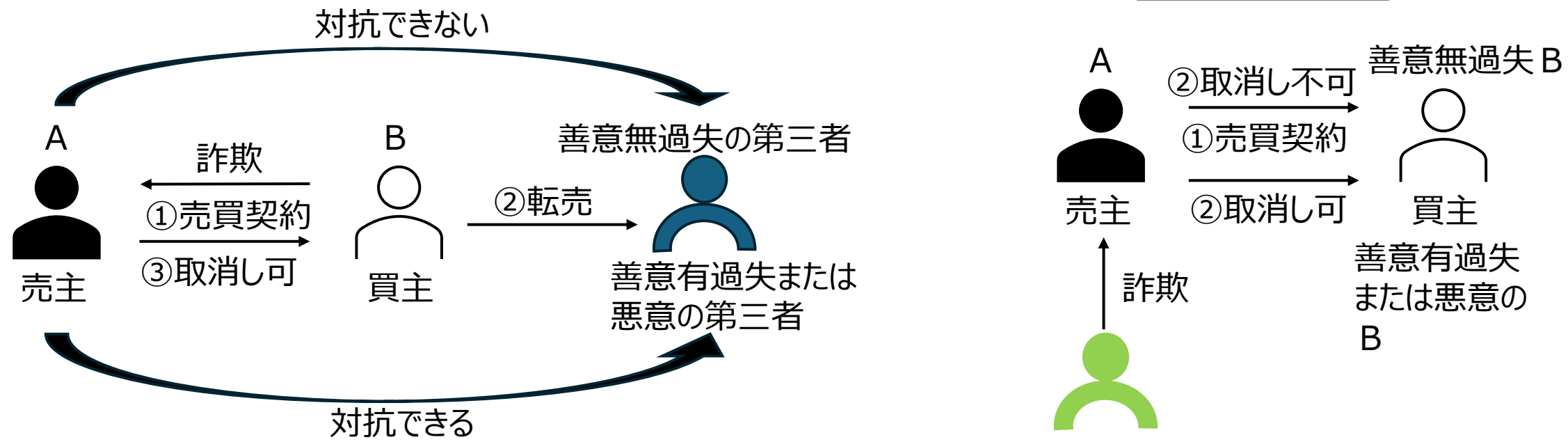
- * 表意者の重過失があった場合は取消不可
- * 重過失があっても取り消せる場合
 - ・表意者の錯誤を相手方が知っていた等
 - ・相手方が共通錯誤に陥っていた

- * 例外として、動機の内容を意思表示として相手方に示していた場合は、取消し可能

取消しできる意思表示 2 詐欺

詐欺による意思表示とは…だまされて(欺罔^{ぎもう}によって)意思表示をすること

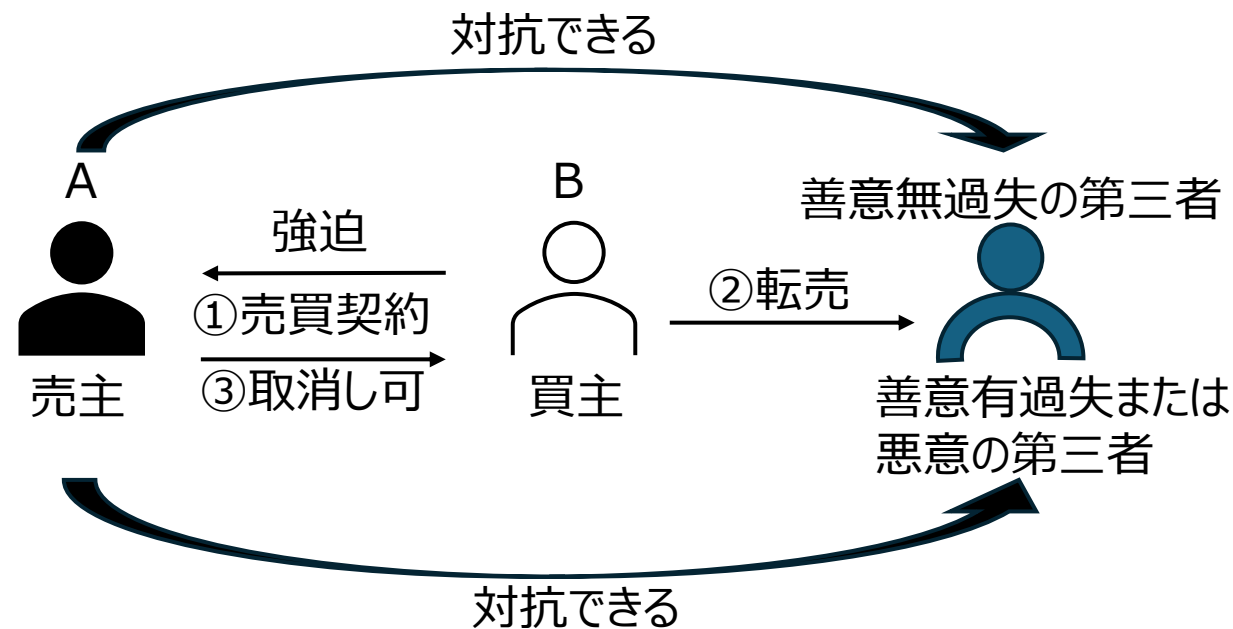
第三者詐欺



取消しできる意思表示 3 強迫

強迫による意思表示とは…おどされて意思表示をすること

強迫による取消しは誰に対しても対抗することができる



第三者強迫

